



高野山の景教碑

参議院議員
名誉顧問
藤井基之



高野山金剛峯寺は、弘法大師空海が開いた真言宗の総本山、日本が誇る「世界遺産」です。高さ二十五・一mもあるという壮大な大門に始まり、一の橋から御廟まで約2kmにわたって樹齢千年を超える杉林が続き、その間に二十万基を超える供養塔と、中門、金堂、山王院、西塔、御影堂、大塔、不動堂、勸学院、東塔などの堂塔、僧房が立ち並び、弘法大師御廟、金剛峯寺、奥の院へとつながる霊場です。武田信玄や石田三成などの供養塔もあり、高野山は多くの日本人の心のよりどころとして、千年以上にわたり、その信仰は続いてきました。

その高野山の奥の院に、「大秦景教流行中国碑」という石碑が建っている、ということを知りました。高さ三m、巾九十cmほどの大きな石碑だそうです。

その石碑に何が書いてあるか。これは司馬遼太郎の小説「空海の風景」からの受け売りですが、そこには「まず天地創造のことからはじまり、原初、神によって造られた人間が原罪を得ること、やがてキリストが神の子として誕生することなどが述べられ、次いで、唐の太宗の世、阿羅本が景教をもたらして長安に入り、太宗のあつい尊崇を得、勅命によって長安義寧坊に大秦寺を建てしめられ、僧二十一人が得度した」云々と書いてあるそうです。

高野山の奥の院にキリスト教の伝承を伝える碑が建っている。ちょっと信じられませんが、本当なのだそうです。ではなぜ、高野山にそんな石碑が建っているのか。

実は、石碑は模造品だそうです。現物があるのです。それは、石碑に記載

掘り出され現在に至っている、というわけです。さて、それがなぜ、高野山と結びついているのか。

弘法大師空海は、八〇四年（延暦二十三年）、遣唐使の留学僧として唐に渡りました。大秦寺に石碑が建てられた二十五年後、まだ景教が盛んな頃のことです。司馬遼太郎は、「空海の風景」の中で、「この碑は当然、建つて二十数年後に長安にいた空海の目にとまったかと思われる。空海のように様々な思想に関心を持つ男が、義寧坊の大秦寺を訪ねなかつたはずがないし、訪ねれば必ず境内に建っているこの碑を見た

に違いない。」と書いています。

明治に入り、中国西安の石碑から模造品が作られ高野山奥の院に建てられました。

弘法大師は、長安で密教を学び、日本に帰国、真言密教（真言宗）を開き、高野山に金剛峯寺を建てました。真言宗では、「大日如来」を全ての宇宙を成り立たせている教主とし、全ての教えはこの大日如来、すなわち根源の教主から直接、法を学ぶこととしているそうです。

そこで、こんな話があります。景教の「景」という字は、「日」と「京」で構成されています。「京」という字は、数字の単位でいえば、百、千、万、億、兆、

京の「京」で、大きい、という意味があります。つまり、「景」とは「大日」ということになる…。

世界にはいろいろな宗教がありますが、どの宗教も、根本は宇宙や自然、生命の「秩序」を司る目に見えぬ存在への畏敬、人への慈愛ということが共通しているのでしょうか。にもかかわらず、エルサレムのガザで続く戦闘など、宗教が原因での争いが繰り返されるのはどうしてでしょうか。宗教とは、所詮、それぞれの宗派の自己主張の場であり、真言密教の総本山高野山が古代キリスト教の石碑の建立を認めたような、そんな寛容さを持つことは困難なのではないでしょうか。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>

●その他 薬学博士・薬剤師
●私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー：薬物乱用のない社会)社会創りです。高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

●活動報告
参議院厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

- 経歴
- 昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
- 昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
- 昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
- 昭和44年 厚生省入省
- 平成9年 厚生省退官
- 平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス 振興財団 専務理事
- 平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
- 平成13年 参議院議員(1期目)
- 平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月～平成17年11月)
- 平成19年 日本薬剤師連盟 顧問
- 平成22年 参議院議員(2期目)
- 平成23年 参議院政府開発援助等に関する特別委員会 委員長
- 平成24年 自由民主党広報本部 副本部長
広報本部新聞 出版局長
- 平成25年 自由民主党党紀委員会 委員
裁判官弾劾裁判所 裁判員
- 現在 原子力問題特別委員会 委員長

- その他
- 慶應義塾大学薬学部 客員教授
- 昭和大学薬学部 客員教授
- 東邦大学薬学部 客員教授
- 新潟薬科大学 客員教授
- 京都薬科大学 客員教授
- 近畿大学薬学部 客員教授
- 千葉大学薬学部 非常勤講師